

「日本一の芝生校庭」なんつる 芝生大百科 6年生用

年 組 氏 名

「芝生校庭になったのは・・・」

休み時間になると、たくさん子どもたちが校庭に出てきて、芝生の上で転がりながら笑顔で遊んでいます。みなさんにとって当たり前の光景ですが、みなさんはなんつるの校庭がどうして芝生になったのかを知っていますか？

右の写真を見てみましょう。これは平成20年以前のなんつるの校庭の様子です。ほかの学校と同じような土の校庭ですね。赤土の多摩丘陵（きゅうりょう）を切り開いたなんつるの校庭は、地下4mのところに粘土層があるため、水はけが良くありませんでした。過去にも水はけを良くする工事を行っていましたが、あまり効果はなく、ひとたび雨が降ると、何日も校庭の土がぬかるんでしまい、外で遊べなくなったり運動会が延期または中止になったりするという事態がしばしば起こりました。『せっかく外はいい天気なのに、校庭で遊べない・・・。』みんな不満に思っていました。

この事態をどうにかしたいと考えたなんつるの保護者が立ち上がり、学校といっしょに東京都と多摩市に対して校庭を芝生にするようお願いをしました。東京都では平成19年度から、ヒートアイランド対策、緑化対策に加えて、子どもたちへの教育のため、地域のコミュニケーションをよくするために公立小中学校の校庭を芝生にしようとしていました。保護者や地域の方々が熱心にしたのなので、多摩市や東京都はなんつるの校庭を芝生にすることを決めました。

平成20年6月に校庭芝生化の工事が始まりました。はじめに校庭の表土をけずり、排水（はいすい）用のみぞをほり、排水パイプをうめていきます。その後、体育館と校しゃ屋上からの雨水を貯水槽（ちょすいそう）に引き込むためのパイプが埋められていきました。8月に入るとスプリンクラーの配管工事も始まりました。8月なかばには校庭の東側に、100tの雨水が、貯められる貯水タンクがうめられ、スプリンクラーや雨水用の配管とながれました。うめた土の上にブルドーザーで砂がしかれ、校庭は平らにならされていきました。9月に入り芝生を張る作業が始まりました。子どもたちも芝生をしきつめました。9月中には芝生が全部張り終わり、1週間ほど待って1回目の芝刈りが行われました。10月4日には、多くの来賓（らいひん）の方々を招待して「芝生開き」が行われ、芝生校庭を使い始めました。



芝生化以前の校庭



雨が上がっても



雨水タンクは 100 t



排水パイプ



みんなで芝生をしきつめる



芝生を「芝生」として保つためには、日々の管理がとても大切です。そこで、平成19年には「学校・父母と教職員の会・地域のスポーツ団体」で構成される南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員会（Gネット）が発足（ほっそく）しました。なんつるの芝生はGネットの方々が中心となって管理作業をしています。また、みなさんに芝生に愛着をもってもらうために、平成23年には子どものアイデアをもとにして、マスコットのしばちゅんが誕生しました。

いかがでしょうか。なんつるの芝生化の歴史について、何か知っていたことはありましたか。このような理由があって、みなさんが当たり前のように使っている芝生の校庭が完成したのです。なんつるの校庭芝生は、全国的に見ても最大規模です。（約5千㎡）なんつるの校庭芝生には2つ特徴（とくちょう）があります。1つ目は、スプリンクラーで使う水に雨水を使っていることです。そのために、100tの雨水タンクが芝生倉庫の前の土の中にあります。一度スプリンクラーで水をまくと17tもの水が必要です。（南鶴牧小学校で夏の一日に使う水の量は13t位）雨水を使うこと水に努めています。2つ目の特徴は、すべての保護者がボランティアとして芝生の管理を行っていることです。この日本一の芝生を未来の鶴っ子が当たり前のように使っていくことができるように、みんなで大切にしていきたいですね。

芝生のいいところ



その1：体にいい

- 雨が降っても、やめばすぐに校庭を使うことができます。だから、たくさん運動して体を鍛えることができます。
- 冬の間、霜（しも）がとけて校庭が使えなくなることがありません。
- 夏季はすずしい。砂ぼこりが立ちません。

その2：頭や心にいい

- 芝生を使って自然体験や環境について学ぶことができます。
- 外遊びの機会が増えて、友達との関わり方などを学ぶことができます。

その3：何より気持ちがいい

- 芝生の校庭は転んでもいたくありません。けがをしにくくなります。（すり傷がほとんどなくなりました）
- 緑の芝生にねころんで青い空を見上げると気持ちが落ち着きますね。
- 手をついたり転がったりするような土の校庭ではできない動きをしやすくなります。